

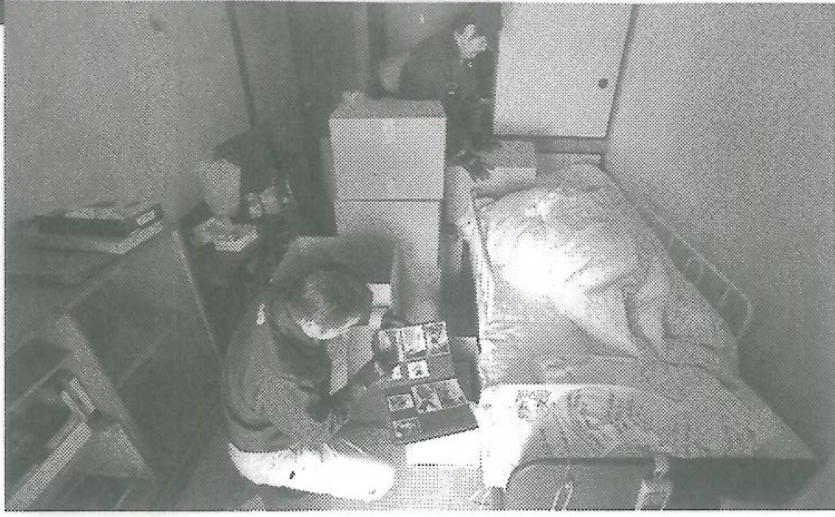
死ぬときは一人 目指せ

ハッピー「おひとりさま死」

20年後には65歳以上の独り暮らしが国民の4割を占めると予測されている。単身高齢者は「孤独死予備軍」といった暗く寂しいイメージが先行するが、心掛け次第でハッピーな「おひとりさま死」も可能なのだ。



ご近所同士の声かけが孤独でない状況をつくる



遺族に代わって遺品整理をする業者。生前見積もりも増えている

大阪府豊中市で新年早々の1月8日、60代の元資産家の姉妹が餓死しているのが見つかり、「孤独死」と報じられた。孤独死の定義は明確ではなく、「誰にも看取られなかった死」として使われることが多い。

女性独りの生き方をサポートするNPO法人「SSS ネットワーク」代表で『おひとり死』（河出書房新社）の著者でもある松原惇子さん(63)は、独りで死を迎えたケースを孤独死ではなく

「おひとり死」と名付けた。「人から見たら惨めな死に方でも、本人は孤独だと思っていないかもしれないませ

ん。家族や友人に囲まれての死を幸せと思う人もいれば、誰にも看取られずに死ぬ幸せもある。シングルで独り暮らしの私が自宅ですら

寿命は男女ともに4年連続で過去最高を更新中であり、非婚、高齢化がますます進む日本社会では、「おひとり死」が今後、スタンダードになることは間違いないだろう。

「誰もが独りで死ぬことの覚悟を持つことが必要です。心配性になる必要はありませんが、元気な間に準備をしておけば、心置きなく生きることを楽しめま

何か、人と協力してできることは何か、順にみていく。【心配なら自分で動く】自宅ですら一人で亡くなり、誰にも発見されないことが心配だという人は多い。遺品整理の専門業者「キープーズ」(愛知県刈谷市)の吉田太一社長(46)による

と、一般的に遺体の傷みや腐敗臭が激しくなるのは死後3日以降だという。では、3日以内に発見される方法を尋ねると、答えは意外と単純だ。

- ▼死後3日以内に発見される生活スタイル
- ▼遺言より願いが叶う「部屋中張り紙」
- ▼月額300円からの少額葬儀保険…

「3日も顔を見ないと『どうしたのかな』と気にしてもらえない人間関係をつくる